

## 1 目的

農業高校の生徒として、栽培や製造販売，出前授業などの体験学習を通して，農業の魅力に気づき，そして興味・関心を高めるようにする。地域や関係機関との協働を通して農業を職業として意識を促進し，農業後継者としてふさわしい人材の養成及び農村社会を支えるリーダー的人材の育成を目的とする。

## 2 実施状況

### (1) 出前授業

5月24日，阿久根市の西目小学校に本校の農業科学科3年生の野菜専攻生6名が出前授業を実施した。野菜の種類や苗の植え方などを高校生が小学生にわかりやすく説明をしたあと，一緒にプランターや学校農園に野菜の苗の植え付けを行った。そのあと給食を一緒に食べて交流を図り，将来の後輩達に本校の魅力をたくさん伝えた。



出前授業

### (2) 先進地視察

2月3日に農業科学科1年生，2年生が，先進地視察に行った。株式会社ナンチクと県肉用牛改良研究所の2カ所で施設見学と研修を行った。ナンチクでは，と畜場の見学で生体から肉になるまでの製造過程を見学し，肉改研では，改良途中の種牛を見学することができた。



先進地視察

## 3 今後の課題及び取組

農業の担い手不足が深刻化している中で，地域の小学生や中学生に農業の魅力を発信する役割を担うのが農業高校である。出前授業や生産物の販売などを通じて，農業の魅力を発信する取組を今後も積極的に行っていく。また，地域から必要とされる学校を目指すために，地域の課題を発見し，地域企業と協働で課題解決に取り組んでいきたい。



中学生体験入学（農業機械）